

観光振興特別委員会資料



八戸市・階上町「ポケふた」お披露目式の様子(令和3年3月13日)

- 1 新型コロナウイルスの観光への影響等について
- 2 えんぶり特別企画の開催について
- 3 種差海岸観光客受入環境の整備について
- 4 ポケモンマンホール「ポケふた」の設置について
- 5 八戸市観光統計について
- 6 VISITはちのへについて

1 新型コロナウイルスの観光への影響等について

(1) 影響について

◇主要観光入込客数

	年	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計
八食センター	2020年度	149,983	147,738	144,070	166,995	97,689	111,774	818,249
	2019年度	205,233	187,603	194,721	233,465	174,456	140,734	1,136,212
	対前年比	73.1%	78.8%	74.0%	71.5%	56.0%	79.4%	72.0%
はっち	2020年度	51,145	54,111	50,625	50,322	43,007	47,978	297,188
	2019年度	70,027	69,219	71,481	64,668	61,453	64,929	401,777
	対前年比	73.0%	78.2%	71.0%	77.8%	70.0%	73.9%	74.0%
種差海岸イン フォメーションセ ンター	2020年度	8,142	6,704	5,743	2,812	2,451	3,186	29,038
	2019年度	10,067	5,587	5,503	2,603	2,903	3,072	29,735
	対前年比	80.9%	120.0%	104.4%	108.0%	84.4%	103.7%	97.7%
マリエント	2020年度	5,754	4,958	3,463	2,124	1,967	3,377	21,643
	2019年度	5,549	4,892	3,452	2,758	4,298	3,136	24,085
	対前年比	103.7%	101.3%	100.3%	77.0%	45.8%	107.7%	89.9%
観光プラザ	2020年度	3,092	3,957	3,800	3,023	2,005	1,467	17,344
	2019年度	5,091	5,266	4,524	4,834	5,332	4,330	29,377
	対前年比	60.7%	75.1%	84.0%	62.5%	37.7%	33.9%	59.1%
5地点 合計	2020年度	218,116	217,468	207,701	225,276	147,119	167,782	1,183,462
	2019年度	295,967	272,567	279,681	308,328	248,442	216,201	1,621,186
	対前年比	73.7%	79.8%	74.3%	73.1%	59.2%	77.6%	73.0%

◇宿泊者数(市内主要25施設)

	年	8月	9月	10月	11月	12月	1月	合計
延べ宿泊者 数	2020年度	55,963	60,903	68,079	64,278	53,432	42,186	344,841
	2019年度	88,062	72,554	76,138	71,328	64,146	59,467	431,695
	対前年比	63.5%	83.9%	89.4%	90.1%	83.3%	70.9%	79.9%
うち 外国人	2020年度	135	118	1,128	823	215	220	2,639
	2019年度	3,771	1,414	4,708	2,056	987	911	13,847
	対前年比	3.6%	8.3%	24.0%	40.0%	21.8%	24.1%	19.1%

1 新型コロナウイルスの観光への影響等について

(2) 対策について

◇国の施策(主要なもの)

実施主体	事業名	事業内容
国	Go To キャンペーン事業	Go To Travel キャンペーン(所管:観光庁) [概要] 国内旅行代金の35%割引+15%分の地域共通クーポンの付与(上限:2万円/一人一泊、1万円/日帰り) ※緊急事態宣言期間中は停止となり、再開時期は未定。
		Go To Eat キャンペーン(所管:農林水産省) [概要] プレミアム付食事券(25%のプレミアム上乘せ)の発行やオンラインの予約サイトで予約・来店した方へ、次回に使えるポイント(最大1,000円分)を付与する。 ※ポイント付与は終了。 ※青森県内におけるプレミアム付食事券(5,000円分を4,000円で販売)は12/1より販売を開始。販売期間は5/31まで。利用期間は6/30までに延長となった。
		Go To Event キャンペーン(所管:経済産業省) [概要] イベント・エンターテインメント関連のチケット等を購入の際に2割相当分の割引やクーポン等を交付する。10/29より実施し、期間は6/30までに延長となった。 ※当面、オンラインで開催されるイベントのみが対象
		Go To 商店街 キャンペーン(所管:中小企業庁) [概要] 商店街でのイベント開催やプロモーションの実施等を支援(1商店街あたり上限300万円、広域連携で実施する場合は500万円上乘せ)。10月より実施中。 ※市内においては中心市街地の商店街が事業の採択を受けていたが、緊急事態宣言の発出に伴い、国から全ての事業を中断する旨の指示が出されたことから、一部の事業を実施し、残りの事業は中止となった。

◇県の施策(主要なもの)

実施主体	事業名	事業内容
県	あおもり宿泊キャンペーン	[概要] 宿泊料金を助成するとともに、宿泊者に対して県産品カタログを進呈。 ➤ 事業期間: 令和3年1月1日～3月14日 ➤ 対象者: 青森県内居住者 ➤ キャンペーンの内容: 宿泊料金の割引(5,500円/1人1泊)及び県産品カタログの進呈(3,300円分/1人1泊) ※県産品カタログの進呈は2月1日宿泊分から対象 ➤ 助成泊数: 40,000泊 ➤ 市内参加宿泊施設数: 30施設

◇市(観光課)の施策

事業名	事業内容
<p>「冬もおんでやあんせ八戸」宿泊キャンペーン (事業費:40,020千円)</p> <p>※全額、国の「地方創生臨時交付金」を活用</p>	<p>[概要]</p> <p>東北六県及び北海道からの来訪者が当市の宿泊施設を利用する際の宿泊料金を助成するとともに、キャンペーンオリジナルのお土産購入券を進呈。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 事業期間:令和2年12月1日～令和3年2月28日 ➢ 対象者:東北六県及び北海道居住者 ※北海道における新型コロナウイルスの感染拡大を受け、12/28以降、北海道居住者を助成対象外とした。 ➢ キャンペーンの内容:①宿泊料金の8割を助成(上限5,000円/1人1泊) ②1人1泊につき1,000円のお土産購入券を交付 ➢ 助成泊数:上限6,000泊 ➢ 参加宿泊施設数:32施設 <p>[事業実績(見込み)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 宿泊の実績:5,721泊/上限6,000泊 ➢ 宿泊者県別内訳 青森県71.1%、岩手県15.3%、秋田県2.9%、宮城県7.5%、山形県2.7%、福島県0.4%、北海道0.1%
<p>「おんでやあんせ八戸」モニターバスツアー (事業費:2,664千円)</p> <p>※全額、青森県の「地域経済対策事業費補助金」を活用</p>	<p>[概要]</p> <p>新型コロナウイルスの感染拡大防止に配慮した「新しい生活様式」を踏まえた旅行形態を模索するため、トライアル事業として北東北三県の住民を対象とした日帰り及び宿泊付きの観光バスツアーを実施する。</p> <p>[事業実績]</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 催行日:令和2年12月12日～12月13日 ➢ 対象者:北東北三県居住者 ➢ ツアー内容:「日本最大級の朝市と3つの国宝を巡る二日間の旅」 ➢ 発着地:岩手県水沢市及び北上市 ➢ 参加人数:5名
<p>宿泊施設感染防止対策等支援事業 (事業費:33,200千円)</p> <p>※全額、国の「地方創生臨時交付金」を活用</p>	<p>[概要]</p> <p>宿泊施設における新型コロナウイルス感染拡大防止に係る費用の一部を補助することで、観光客の安全・安心を確保するとともに、観光需要回復に向けた基盤整備に関する取組みを支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 補助対象:市内宿泊施設 ➢ 対象経費:消毒液の購入費用、パーテーション設置費用、サーモグラフィの設置費用、その他感染防止対策に要する費用 <p>[事業実績(見込み)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 申請件数:22件 ➢ 補助金額:11,541千円

2 えんぶり特別企画について

【えんぶり特別企画】

全国的な新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和3年八戸えんぶりの全行事が中止となったことから、えんぶり行事の雰囲気醸成し、改めてその魅力に触れ、良さを感じて貰うことで来年以降につなげることを目的として、えんぶり特別企画を開催した。

主 催

八戸市・八戸地方えんぶり保存振興会

協 力

(一財)VISITはちのへ・八戸地方えんぶり連合協議会

内 容

八戸まちなか広場「マチニワ」にて、下記イベントを実施。

①えんぶり画像上映(2月10日から随時)

マチニワ大型ビジョンにてえんぶり動画や画像を上映。

写真家の堀井裕子氏やニツ森 護真氏の作品のほか、過去の『えんぶり写真コンテスト』入賞作品など。

②えんぶりトークイベント『語るべえんぶり』の開催(2月20日 13:00～13:50)

マチニワ大型ビジョンに映し出されるえんぶり画像を背景に、えんぶりが大好きな写真家の方々が集い、えんぶりの魅力について語り合うトークイベントを開催。

司会者:小笠原 ちえ子(BeFMパーソナリティ)

ゲスト:ニツ森 護真(ふたつもりまもる)さん(BeFMスタッフ/写真家)

小野 昭仁(おのあきひと)さん(写真家)

堀井 裕子(ほりいひろこ)さん(日本写真作家協会会員/会社経営者/三八五ホールディングスアドバイザー)

③お囃子実演(2月20日 ① 11:00～11:40 ② 14:00～14:40)

烏帽子製作師の小坂勝義氏(大久保机組)が代表を務める「八戸えんぶりお囃子研究会」によるえんぶりのお囃子実演(①内丸、糠塚 ②十一日町、大久保)



えんぶりお囃子実演の様子



「語るべえんぶり」の様子

【その他のえんぶり関連イベント】

- | | | |
|--------------|-------|---------------------|
| (1)新丁商店街イベント | 2月20日 | 妻神えんぶり組(是川)が摺りを披露 |
| (2)蕪嶋神社前 | 2月21日 | 烏屋部えんぶり組(階上町)が摺りを奉納 |

3 種差海岸観光客受入環境の整備について

1 事業概要

アフターコロナ期の観光需要の回復期に向け、インバウンド対応を目的に、種差海岸景勝地ガイドンス動画の作成及び蕪島休憩所展示パネルの多言語化を実施した。(観光庁「令和2年度地域観光資源の多言語解説整備支援事業」及び環境省「令和2年度国立公園等資源整備事業費補助金」を活用)

2 種差海岸景勝地ガイドンス動画

当市のみちのく潮風トレイルルート上にある種差海岸景勝地(11箇所)の日本語版及び英語版のガイドンス動画を作成。景勝地に設置されたQRコードをスマートフォン等で読み取ると、動画投稿サイトYouTubeでガイドンス動画を見ることができる。



<日本語版>



<英語版>



<QRコード標識>

※動画投稿サイトYouTube「八戸市観光課チャンネル」に掲載。

※日本語版、英語版どちらも字幕入りのナレーションによる動画。

※景勝地は北から蕪島、葦毛崎展望台、中須賀、大須賀、白浜、田村崎、白岩、コウモリ穴、淀の松原、種差天然芝生地、巖島神社の11箇所。

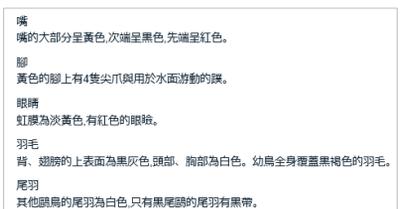
なお、平成19年から実施していた音声ガイドシステム(ラジオ電波)は終了し、今後は本事業によりウェブに移行し運用を行う。

3 蕪島休憩所展示パネル

蕪島休憩所の展示パネル(日本語版)にQRコードを設置。QRコードをスマートフォン等で読み取ると、八戸市公式ウェブサイトが多言語解説文を見ることができる。



<現地パネル>



※英語、簡体字、繁体字、韓国語の4言語による解説文案内。

※蕪島休憩所にはWi-Fi整備済み。

4 ポケモンマンホール「ポケふた」の設置について

1 事業概要

株式会社ポケモンでは、地域振興のため、全国各地にポケモンがデザインされたマンホール蓋「ポケふた」を設置しており、東北地方では、東日本大震災の復興支援の一環として、岩手県、宮城県及び福島県の太平洋沿岸自治体等57箇所に設置されている。この度、震災から10年という節目に青森県で初めて八戸市、階上町にポケモンマンホール「ポケふた」の寄贈が決定したものを。

「ポケふた」とは

株式会社ポケモンが制作した、世界に一つだけのマンホール蓋。全国各地で152枚が設置されており、今回、当市及び階上町に寄贈されたマンホール蓋を合わせて合計154枚となった。

2 「ポケふた」設置場所及びデザインについて

八戸市 設置場所



蕪島周辺インター ロッキング内

うみねこポケモンの「キャモメ」が、三陸復興国立公園でもつながりのある、いわて応援ポケモン「イシツブテ」の上空を舞っている。

階上町 設置場所



道の駅 はしかみ

階上町特産に関連する「バチンウニ」「ナマコブシ」「ユキハミ」をデザイン。朝日が、ポケモンたちや灯台を照らしている。

3 ポケモンマンホール「ポケふた」お披露目式について

下記の日程にて、ポケモンマンホール「ポケふた」のお披露目式及びマンホール蓋の設置を実施した。

<日 時> 令和3年3月13日(土) 10:00~10:30

<場 所> 蕪島海浜公園(蕪島海水浴場監視棟前広場)

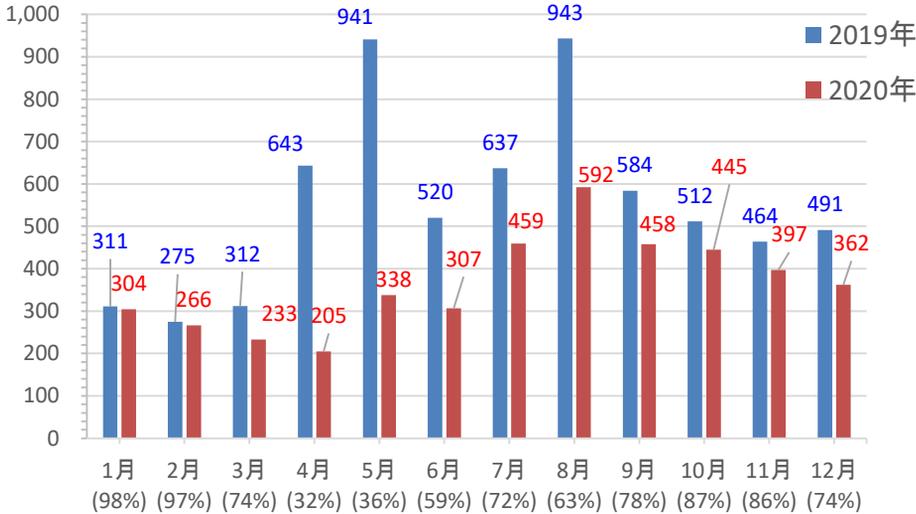
<主 催> 八戸市・階上町



5 八戸市観光統計について

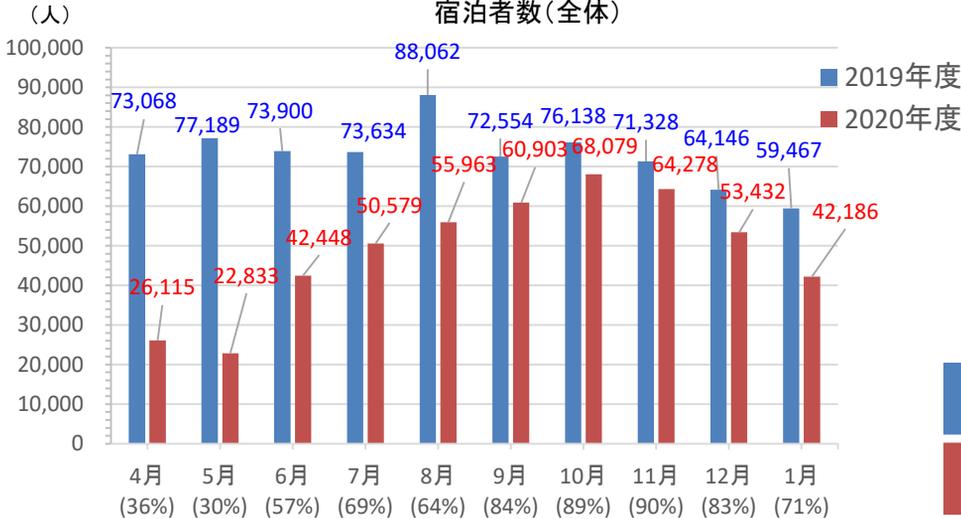
月間統計

○観光入込客数 (観光地点入込で行催事・イベント入込は含まず)



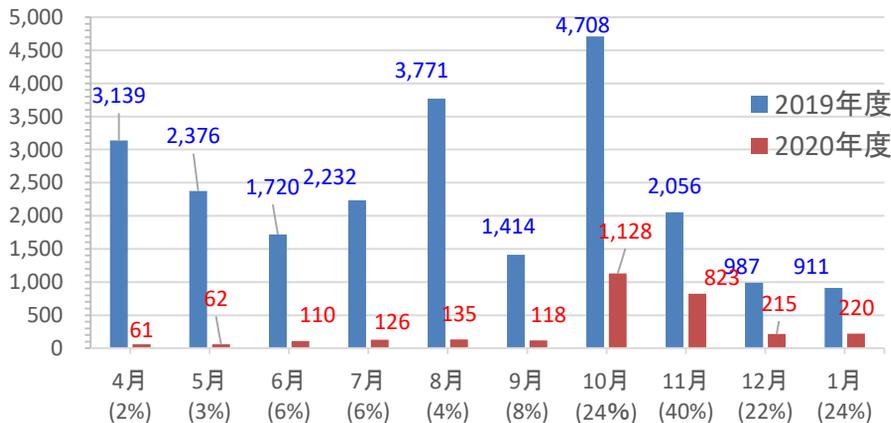
2019年 1月～12月	6,631,881人
2020年 1月～12月	4,366,016 (前年比66%)

○宿泊者数 ※VISITはちのへ調べ (全25ホテル)
宿泊者数(全体)



2019年度 4月～1月	729,486人
2020年度 4月～1月	486,816人 (前年比67%)

○宿泊者数(外国人)



2019年度 4月～1月	23,314人
2020年度 4月～1月	2,998人 (前年比13%)

6 VISITはちのへについて (旅行商品造成支援事業)

1 目的

戸圏域の観光コンテンツの魅力を高め、消費者への訴求力アップを図るため、専門家による消費者ニーズ等を踏まえた各コンテンツの磨き上げを行い、旅行商品造成に繋げる。

2 事業内容 (令和3年1月実施分抜粋)

○南部どき体験プラン 冬期旅行商品「南部リング」新規開発支援モニター実施

内容:「南部リング」(南部+Rambling=南部町をぶらぶらするの意)を、健康増進を図る施設バーデパークと組み合わせることにより、冬場のヘルスツーリズムとして商品化するため、専門家を招聘して実践的なモニターツアーを実施

実施日:令和3年1月30日(土)

場所:南部町バーデパーク及び周辺コース約2.5km
(周辺コースは、スノーシュー(西洋かんじき)で散策)

主催:合同会社南部どき、(一財)VISITはちのへ

連携団体:(一財)南部町健康増進公社(バーデパーク)

専門家モニター:・Chapter White代表取締役CEO ホホワイト美佳氏

・EXO Travelプロダクトマネージャー モスケッティ ピエトロヴィト氏

・TXJ(Tourism Exchange Japan) 三澤氏

・VISITはちのへ経営戦略マネージャー 村木智裕氏

主な行程:・バーデパーク集合

・スノーシュー散策 (ネイチャーガイド同行+スノーシュー雪上歩き)

・林道で休憩を兼ねたティーブレイク

・ファットバイク試乗

・特製ヘルシーランチ (バーデパークの健康増進の取組み説明)



(上)デーリー東北紙2021年2月4日記事

(右)雪上ファットバイクと健康ランチも体験



(上)スノーシュー(西洋かんじき)を履き散策するなど、商品造成の専門家が実際のツアー行程で体験。



⇒今後も商品造成の専門家から助言・指導をいただくことで、旅行商品の開発・磨き上げを行い、当圏域の観光コンテンツの魅力を高めることにより、市場感を意識し、消費者ニーズを踏まえた旅行商品を造成していく。

6 VISITはちのへについて

(新商品開発事業) ※むつ小川原地域・産業振興助成金事業

1 目的

八戸圏域の特産品や未利用資源等を活用した新たな商品開発やブランドの見直し等を、若い女性のグループを設置してこれまでにない感覚で進め、地域には見られなかった分野の商品開発や既存観光資源のブランディング等を展開すると共に開発過程を広く発信する。

このことで圏域の事業者による開発意欲や開発能力の向上につなげ、圏域事業者による新商品開発が活発化することで、地域への経済波及効果を高めることを目指して事業に取り組む。

2 事業内容

(1) はちのへポケット(商品開発女子部/愛称「はちポケ」)の設置・運営

- ・県出身東京在住社会人2名、市内在住社会人4名、地元大学生5名の11名で女子部を設置。
- ・ブランディング、マーケティング、市場調査に関する勉強会及び青森市・盛岡市の視察調査を実施。
- ・2月までに12回のミーティングを開催し、【地域資源を活用した「モノづくり」「コトづくり」による“大人女子向け”新市場の創出】を目標に、下記の2テーマで商品開発を進めている。

○ 開発テーマ①モノづくり「琥珀糖っぽいスイーツの開発」

【メインターゲット】20代後半から30代の働く女性

【サブターゲット】年代を問わずトレンドに敏感な女性

【購入動機】八戸土産、疲れた時のリフレッシュ、スイーツのデコレーション、自分へのご褒美、SNS用・現在パッケージ等の制作を進めていて、3/25に「新商品完成披露」を開催する計画。商品の市場投入・発売開始は5月を予定している。

○ 開発テーマ②コトづくり

「陸奥湊・魚菜小売市場の情報編集と“オリジナル海鮮丼体験”商品開発によるブランディング」

【目標】「オリジナル海鮮丼作り体験」をきっかけとした既存情報の整理・再編集による市場のブランド価値の再構築・再評価(リニューアル工事に入る前の市民へのブランドイメージ定着)

【体験企画】「第1回 陸奥湊駅前朝市オリジナル丼選手権」を、八戸市営魚菜小売市場・陸奥湊駅通り地区まちづくり協議会との共催で2/27～3/20まで開催中(画像をInstagramに投稿)

【その他】1/27に実施した「首都圏主婦モニターディスカッション調査」の結果を受けて、希望の多かった「イサバのカッチャ」たちとのコミュニケーション形成に役立つツールの企画・制作を進めている。



【ネーミング】
八戸の新しい価値が
どんどん出てくる魅力
的なポケットのような、
ワクワク感のある活動
をするチーム。



「はちのへポケット」のロゴとネーミングの意味

「琥珀糖っぽい」の試作品



「オリジナル丼選手権」のチラシ はちポケメンバーによる丼作り体験 と Instagramに投稿された「オリジナル丼」

◆ 令和3年度も「むつ小川原地域・産業振興助成金」を活用して、【「大人女子向け」商品市場創出及び情報拡散による地域ブランディング・イメージアップ事業】に取り組む計画。